

人生不測ノ災害アルハ古今其例尠シトセス近
時世運昌平氣候ノ不順ナキト政府民ニ厚
キトニ頼リ以テ我輩農圃ニ従事スルノ徒
勉メテ耕耘ニ怠ラサレハ幸ニ一家ヲ供給シ營
生ノ道ヲ失スルナキモ天若シ凶歉ヲ下シ蝗旱
風霖ノ變アルニ遇ハタ夫レ何ヲ以テカ之レヲ待
ントスル耶苟モ良民タルモノ豫メ之レカ災厄
ニ虞備スル所ロナカルヘカラス然リ而メ人生ノ災
害ハ獨リ天變ニ止ラズ疾病アリ災厄アリ以テ
社會ノ安寧ヲ害ス一旦斯ノ如キ不慮ノ難ニ
逢遭スルアレハ仮令東馳西走衣食ニ汲々タル
モ豈能ク飢渴ヲ治スルヲ得ンヤ是我輩從來
杞憂スル所ニシテ遂ニ今回儲畜法ヲ設クル
以テナリ今ヤ世運昌平ノ日ニ方リ各自勤儉
節約ヲ旨トシ餘ス處ノ金穀ヲ醵シ以テ將來不
測ノ災害ニ備エハ亦小補ナシトセス故ニ同盟結
約シ其法方ノ要例ヲ掲クル事左ノ如シ

社則

第一条

本社、社員タルモノハ盟約スル條款ヲ遵守スヘシ

第二条

本社ノ社員タルヲ得ルハ當所ニ本籍ヲ定メタル者ニテ品行方正ナル者ニ限ル

第三条

社員ノ内訳議或ハ投票ヲ以正副幹事ヲ定メ本社ノ事務ヲ總理セシム

但正副トモ幹事ハ無給タルベシ

第四条

社員ノ内止ヲ得サル事故ニ據リ退社ヲ請フモノアルトキハ總員商議ノ上脱社スル事ヲ許ス然レトモ贖金ハ元金而已漸次返付スルモノトス

但無謂脱社ヲ乞フモノハ元金ト金モ返付スル

神奈川縣大住湊綾西郡役所

事ナシ

第五条

社員ノ内規則或ハ總體ニ付異見アルトキハ本社會議ノ節其旨趣ヲ陳述スヘシ

第六条

本社ノ集會ハ壹週年ニ二次トシ該年二月十二月上半ヶ月ノ内ニ之レヲ開クラ恒例トス

但臨時集會ヲ要スル事アルトキハ其趣ヲ

幹事ヨリ通告シ集會スルヲアルヘシ

第七条

他ヨリ入社ヲ請フモノアルトキハ本人ノ履歷ヲ詳明ニシテ然ル後總員ノ忞議ニ付シ各員ノ許諾ヲ得之ヲ許ス

儲畜方

第八条

儲畜スル所ノ金員ハ各社員ノ資力ニ任

セテ宣限ナシト虽モ其金額ハ最初ニ前定シ
而テ釀金連名簿ニ明記調印スヘシ

第九条

釀金方ハ日掛ヲ或ハ月懸ケ又ハ一週年一
度ニ釀スルモ本人ノ都合ニ任カス

但當分月懸トス

第十条

釀金ハ毎月幹事ノ宅ニ持参シ領収書
ヲ得テ他日ノ証ニ供スヘキ事

第十二条

幹事ハ各社員ノ釀金ヲ得テ領收ノ証各
ヲ渡シ而メ売週年ヲ取纏後會即チ
十二月ニ至リ各社員ニ惣額ヲ明示シ儲
畜ノ法ヲ方々提議スルモノトス

救助方

第十二条

本社儲畜金ハ不慮ノ災難ニ備フルヲ目酌

神奈川縣大住陶穀兩郡役所

トスルカ故ニ社員ト虽モ平常擅ニ貸与ス
ル事ヲ得ス

第十三条

社員ノ内不測ノ災害ニ罹リタルトキハ
總員商議ノ上該災害ノ輕重ヲ量リ
普通手續ヲ以テ証書ヲ取リ一年ハ銖
已下ノ利子ヲ以テ社中ノ儲金ヲ貸与
シ被害者ノ營生ヲ保有シ家計ヲ維持
繼續セシム

但貯金蓄積ノ都合ニ寄リ社外人ニ貸

与スルトキハ本支利子ノ限リニアラス

第十四条

前條ノ如ク貸与シタル金額消却法ハ其
本人ノ職業及ヒ資産ノ多寡ホヲ推酌
シ其可堪ニ隨テ之ヲ宣ム

第十九条

受救者ヨリ還納ノ金額ハ幹事之レヲ
受取元利ヲ詳明ニシ開會ノ節總算
ニ報告スヘシ

但收受ノ手續ハ第十條ノ通タルヘシ